

茨城大学工学部 都市システム工学科 令和6年度前期 学科教育点検報告

令和6年10月16日

報告者 都市システム工学科 学科長 小林 薫

1. 実施日時と場所

第1回 令和6年9月18日（水）8:40～10:30, 12:40～14:00 Team 会議

第2回 令和6年10月3日（木）～10日（木）学科会議 Teams 審議内

2. 出席者

第1回

常勤教員：遠藤克彦，熊澤貴之，桑原祐史，小林薫，信岡尚道，原田隆郎，平田輝満，藤田昌史，横木裕宗，久野靖広，車谷麻緒，辻村壮平，肥田剛典，稲用隆一，増永英治，一ノ瀬彩，海野遥香，大村高広，吉田友紀子（全常勤教員19名のうちの19名が出席）

非常勤教員：出席なし

技術職員，事務職員：出席なし

第2回

常勤教員：遠藤克彦，熊澤貴之，桑原祐史，小林薫，信岡尚道，原田隆郎，平田輝満，藤田昌史，横木裕宗，久野靖広，車谷麻緒，辻村壮平，肥田剛典，稲用隆一，増永英治，一ノ瀬彩，海野遥香，大村高広，吉田友紀子（全常勤教員19名のうちの19名が出席）

非常勤教員：出席なし

技術職員，事務職員：出席なし

3. 添付資料

資料1-1 2024年度（前期）学科_教育改善委員会議事録（第1回）（第2回）

資料1-2 都市システム工学科_専攻 FD 研修会議事録

資料2 2024年度（前期）学科・専攻教育改善委員会およびFD 研修会議事次第

資料3 2024年度前期 授業点検改善表集

4. 授業点検の実際

4. 1 アンケート実施状況

点検評価に先立って実施した，授業アンケートの回収状況は以下のとおり。

常勤教員担当科目分： 27科目／常勤教員担当科目総数 27科目

非常勤教員担当科目分： 3科目／非常勤教員担当科目総数 3科目

4. 2 点検した科目

前期に開講した専門科目の総数 30 科目中 30 科目 (100%)。ただし、工学部基礎教育実施部で授業点検を行う専門科目は省略した。

・第1回 プログラミング演習 I, 構造力学 I, 大学入門ゼミ, 情報リテラシー, 都市システム工学序論, 都市システム工学製図, 建築環境工学演習, 数理統計, 測量学, 水理学 I, 建設材料学, 地盤力学 I, 建築一般構造, 建築計画学, 建築設計製図 I, 建築設計製図 III, 建築法規, 建築施工, 建築史, 建築実務基礎論, 振動及び耐震工学, 地盤工学, 橋梁及び鋼構造, 都市システム工学実験 I, 上下水道工学, 海岸工学, 交通システム, 社会基盤設計演習 I の 28 科目

・第2回 線形代数 I, 常微分方程式 の 2 科目

4. 3 具体的な点検方法

前期に開講した 30 科目中 30 科目について、以下の方法で点検を実施した。各科目の具体的な点検結果は、資料 1-1 の議事録における「点検評価と結果」を参照のこと。

- ・ 5 科目程度のグループ (資料 2 参照) ごとに、各授業担当の教員が担当科目の授業点検改善表 (資料 3) 等の資料に基づいて、特に前年度の点検評価で出された各科目の課題・問題に対する対応実績について説明し、それに対しての参加教員全員からの質疑・コメントを受ける形で、点検を実施した。
- ・ 随時、提出済みの電子データや、茨城大学 FD/SD 支援システムを参加者が各自で確認し、それに関しても必要に応じて議論した。
- ・ ファイル提出された教員間ネットワークの活動状況についても、確認した。
- ・ TA を利用している授業は、TA 利用の実際やその効果について授業資料にまとめている。
- ・ 各科目間の成績評価の分布状況を『成績分布表』を用いて確認した。(R3 機関別認証評価対応)

5. 点検評価の結果

5. 1 昨年度の点検評価で出された改善策のフォローアップ

点検を行った全ての科目において、昨年度に改善すべき問題点は改善されていたことが確認された。

5. 2 今回の授業方法で優れている点

アクティブラーニングを取り入れた「構造力学 I」や「建築実務基礎論」の授業では、授業アンケートの結果 (回答率 79%及び 88%) より、満足度が高く 90%以上であった。全員ではないが、授業の進捗に合わせて関連課題を解くことができること、不明点を動画で何度も見返すことができるため、授業内容の理解度が上がっているとのことであった。また、社会基盤受講者が建築プログラムである「建築設計製図 I」を受講するなど、建築と土木の融合にむけて、学科の教育方針に合う動きも確認された。

5. 3 今回の授業方法で改善すべき点

学習内容の難易度が比較的高い講義や演習では、途中から授業に付いて行けなくなる学生（不登校）も散見された。今後、個別の対策を講じる等の対応が必要である。

今年度から、授業時間が90分から105分授業へ変更したことから授業回数が減り、授業内容の調整が必要な授業もあることが確認された。

6. 教育改善活動

会議中に抽出された問題点について、その改善方法を議論したところ、以下のような意見があった。

詳細は、資料1-2参照。

JABEEの認定審査に向けて、方針やスケジュール、進め方が提示され、学科構成員に共有された。授業における成績評価の方法について明確にすべきことや、授業アンケートをふまえた上での学生へのフィードバック方法について確認がなされた。

7. 報告書の開示

この報告書と同じ内容の書類をTeams内に設置した学科FDチャンネルに保管し、学科の全教員が自由に閲覧できるようにした。

8. 『産学連携カリキュラム改良委員会』を受けての教育改善活動について

直近の産学連携カリキュラム改良委員会における議論を受けて、FD研修会では、資料1-2の議事録における学科教育目標に関連する「都市システム工学序論」及び「情報リテラシー」について議論を行い、授業時間及び受講コマ数変更に伴う学生の理解度や授業内容の適切さについて確認された。

現状の授業内容について土木・建築で共通する内容や、融合教育のメリットなどを整理し、今後の授業内容の改善について引き続き検討を続けることになった。

9. その他

特になし。

以上